



# 2017年 平成 29年

謹んで新春のご祝詞を申し上げます

旧年中は格別のご厚情にあずかり、

心より御礼申し上げます

<b>第 107 号</b>	
発行所	酒井重工業株式会社
住所	東京都港区芝大門 1-4-8
電話	03-3434-3401
FAX	03-3434-3419
発行人	水内 健一

新年あけましておめでとうございます。

昨年は、安倍首相主催の伊勢志摩サミット、日本人によるノーベル賞受賞やリオ・オリンピックでの大活躍など、世界における日本の躍進が目立つ一年でありました。

今年の世界情勢は、イギリスの EU 離脱やアメリカ大統領交代を転換点として、世界の勢力地図が一気に塗り替わる激変リスクが懸念されますものの、経済面では「低成長の停滞期」から「中成長の躍動期」へと、チャンス溢れる時代への変化が期待されます。

技術面でも、自動運転技術の進歩が目覚ましく、今後ものすごいスピードで技術革新が進むものと思われます。当社も次世代建設機械を目指し、締固め管理や予防保全、安全制御等の新技術導入に向け、研究開発に注力して参ります。

来たる当社 100 周年に向け、今後とも社会の変化に対応し、弛まぬ努力をして参る所存でありますので、本年も変わらぬご指導とご鞭撻を賜りたく、宜しくお願い申し上げます。



**酒井重工業株式会社** 代表取締役 酒井一郎



明けましておめでとうございます。中国経済もようやく底打ちとなり、上向きが期待されるなか、トランプ次期米国大統領の登場も各方面に波及効果を生んでおります。今年はその良きトランプ効果と 4 次排ガスエンジン規制の終盤を迎え、最後の踏ん張りどころであります。酉年にあやかり、大きく羽ばたける 1 年にしたいと思っております。

SAKAI news も前年に続き「道路」界限についての面白い内容をお届けして参りますので、引き続きご愛読頂きますよう宜しくお願い致します。

サカイニュース発行人 水内健一 および 編集委員一同

## SAKAI 純正オイルのご紹介

酒井重工業は、寒冷地での屋外作業や真夏の熱したアスファルト上での締固め作業等、一般車に比べて過酷な環境で稼働する“建設機械”に適した「SAKAI 純正ハイドロリックオイル 作動油 46」と「SAKAI 純正ディーゼルエンジンオイル 10W-30 DH-2/CF-4」を JX エネルギーと共同開発し、10月1日より販売を開始しました。

### ○ SAKAI 純正ハイドロリックオイル 作動油 46

#### 1. 温度特性に優れている

粘度指数が 140 以上と高く、温度による粘度変化が少ないうえに流動点も低く、低温から高温まで広い温度範囲で安定した性能が得られます。

#### 2. 熱安定性、酸化安定性に優れている

不純物が極めて少なく、厳選された添加剤を適量配合しているため高温条件下でも酸化劣化、熱劣化の少ないロングライフ作動油です。

#### 3. 省エネルギー性が優れている

一般的な作動油に比べ、優れたせん断安定性を有するため容積効率が高くなり、省エネに寄与します。

#### 4. 潤滑性が優れている

優れた摩耗防止剤を使用しており、近年の高圧、高性能化した油圧装置の油圧ポンプやバルブの摩耗を防ぐ耐摩耗性油圧作動油です。

### ○ SAKAI 純正ディーゼルエンジンオイル 10W-30 DH-2/CF-4

#### 1. DPF などの排出ガス後処理装置に対応

DPF などの排出ガス後処理装置に対応している DH-2 規格に適合しております。硫酸配分（オイル中の金属分）を 1 質量%にすることで DPF のつまりを抑制し、また油中のリン分、硫黄分も低減し、排出ガス触媒への適合性を向上しております。

#### 2. 燃費低減につながる

マルチグレード油であるため、高粘度のシングルグレードより燃費低減が可能です。また DPF のフィルター目詰まりが少ないことから背圧の上昇を防ぎ、燃焼状態が正常に保たれることで燃費の悪化が抑えられます。また、高性能分散剤を配合していることでオイル中に混入したススによる粘度増加も抑えられ、燃費低減につながります。

#### 3. エンジン寿命の延長が可能

熱安定性、摩耗防止性、清浄性に優れているため、エンジン各部の摩耗やカーボン・スラッジの付着を防ぎ、エンジン寿命を延長することができます。また酸化安定性および分解性に優れるため、オイルの寿命延長も図れます。

詳しくは、各営業所にお問い合わせください。



#### 荷姿 / 部品番号

##### 作動油

20 L ペール缶 / 9000-91001-0

200 L ドラム缶 / 9000-91002-0

##### エンジンオイル

20 L ペール缶 / 9000-92001-0

200 L ドラム缶 / 9000-92002-0



## なでしこエンジニアの会



なでしこエンジニアの会は、道づくりに携わる道路建設会社、レンタル会社、測量機器メーカーおよび建設機械メーカーが、特に女性技術者の育成・雇用拡大・技術支援に寄与し、道路建設業界全体の発展の一端を担うための活動することを目的として、2014年に発足しました。

前身の組織は、2012年情報化施工業界で女性の活躍の場が増えてきたことから、情報化施工技術と国内外における建設機械の勉強など自由な意見交換をする会から発足しました。具体的には、建設機械メーカーのトレーニングセンターの見学会や、情報化施工技術に関する会員相互による討論会およびワールドビジネスサテライトなど取材の受け入れなどを行っていました。

その後、同好会を脱し、より女性が集まりやすい環境を作るためや、女性の建設業界での活躍推進を促す環境が整ってきたことから2014年4月より一般社団法人日本道路建設業協会のサブワーキンググループとして活動を開始しました。現在は約2ヶ月に1回集まり、この業界に女性が少ない原因を分析し、解決策を上位ワーキングへ提言したり、近年発展してきたICT (Information and Communication Technology : 情報通信技術) を活かして女性が道路建設業界で活躍する場を増やすべく、ICTの勉強会を実施したりしています。現在の会員は約25名ですが年々少しずつ人数が増えており、道路建設業界での女性の増加を感じます。

ICTの勉強会では、委員が持ち回りで講師を行い、実際に機材を持ち込んで勉強会を実施しています。ICTは女性1人でも操作が可能な技術であり道路建設業界で活躍推進を期待できるほか、これまでの道路建設業界のキツイ・危険・汚いという3Kイメージを払拭する技術として注目されています。勉強会の成果として、毎年6月に開催されるICT講習会でなでしこメンバーが実際に講師として立ち道路建設業界でのICTの普及を目指しています。

また、会員相互の討論会では、女性ならではの視点から女性に限らず現在の道路建設業界が抱える課題に気づくこともありました。

2016年現在、道路建設業界での女性技術者雇用拡大を目指して新たな活動を模索しているところです。今後は意志を同じくする仲間と共に自由な意見からますますの発展を期待しています。今までも道路建設業を軸とした女性技術者の活躍を推進することで、道路業界全体の発展の一躍を担うための活動を継続して行なっていきます。



あの対決のときも応援してくれました

## 点検・整備要領 ～DPF装置 後編～

今号では、第106号でご紹介した「DPFの取扱い」に続いて、再生手順と注意点をご紹介します。

### ・駐車自動再生の手順

1. ローラを安全な場所へ移動する。排気温度が高いためヤケド・火災に注意する。
2. 前後進レバーを中立にする。
3. 駐車ブレーキスイッチを押す。
4. エンジンをアイドリングにする。
5. 駐車自動再生スイッチを押す。

橙ランプが点滅から点灯に変わったのち、エンジン回転数が自動的に上がり自動再生が開始されます。約30分後、エンジン回転数がアイドリングにもどり、橙ランプが消灯したら再生完了です。再生完了後は必ずエンジンを約5分間アイドリング運転して下さい。

### ・エンジンオイルについて

DPF装置を搭載している車両はエンジンオイルの量が増えますので毎日の始業点検時、エンジンオイルが上限レベルを超えている場合、直ちにオイルを交換して下さい。再生中にオイルに混入した燃料によってエンジンが故障する原因になります。

自動再生間隔が5時間未満になった場合、必ず取扱説明書に記載されたエンジンオイルに交換して下さい。

### ・DPFのクリーニングおよび交換

DPF装置は自動再生や手動再生をしてもススの他にアッシュ（金属粉）もたまります。アッシュ（金属粉）は燃やすことが出来ないため、DPF装置のクリーニングまたは交換をお願いしています。

※詳しくは取扱説明書をご参照ください。

クリーニングまたは交換については、当社指定工場または当社営業所にご相談ください。

2回に渡って掲載したDPF装置の点検・整備要領を終わります。取扱説明書をよくお読みになり、機械の維持管理につとめてください。

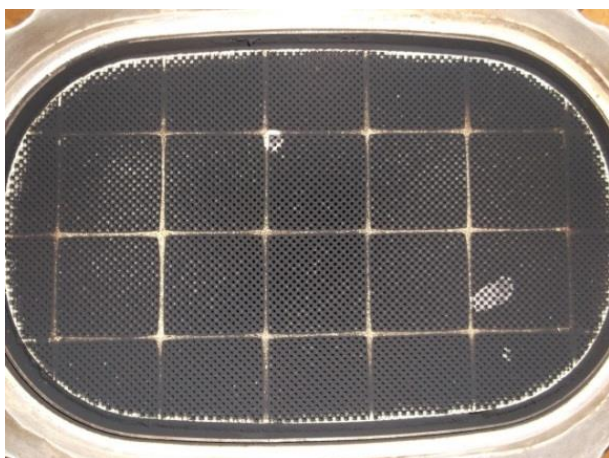


写真1 ススの詰まっているDPF

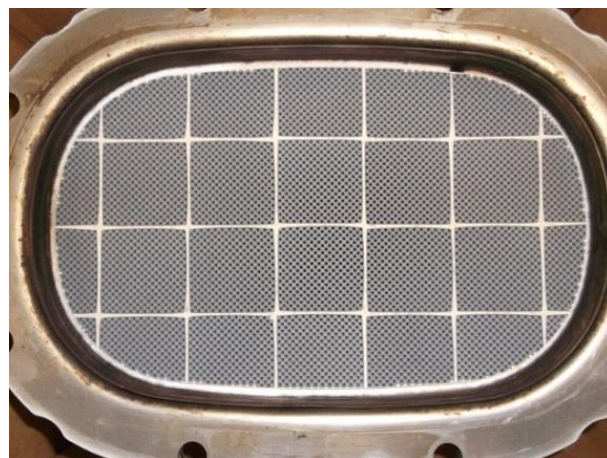


写真2 ススの詰まっていないDPF